

「事業名：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業」 2019年度事業の概要

早稲田大学 連携市町村：広野町

連携市町村との協定締結日：平成31年1月18日

現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼総合公園管理棟



事業のポイント

- ・地域社会の持続可能性研究における社会的ソフトづくりと浜通り地域の広域連携ネットワーク構築
- ・対象自治体、地域の市民団体、大学の3つの連携を基本単位とする地域課題に基づくアプローチ実践
- ・立場の異なる3者と多世代の参加者がフラットな関係で熟議することで未来志向の議論を実践
- ・社会変革のトリガーとなる ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブを展開することで社会イノベーションを促進

2019年度の活動内容

平成30年度に設定した社会技術的な課題である4つのテーマ(①まちづくりと住民参加、②持続的な農林水産業の創造と地域再生、③再生可能エネルギーとスマートタウン、④1F事故処理・廃炉と汚染水問題)での地域関係者を巻き込んでの研究会を重ねる。これらの検討内容は、多世代多様主体による対話の場であるAふくしま学(楽)会(2回開催)で熟議を行い、具体的な提案づくり、あるいは社会実装に取り組む。

特に、本年度からは、4つのテーマに共通する課題を、社会変革のトリガーとなるイニシアティブ(先導的な取り組み)として位置づけ、B-1 1F保存専門家検討会、B-2 浜通り芸術祭検討会の2つの会議体を組織し、これらの実現にむけた地域合意形成を実施する。なお、ふくしま学(楽)会開催時期は、第4回は2019年8月3日、第5回は2020年1月26日を予定する。

取り組みによって得られる成果

㉞ 浜通りの広域連携

- ・連携協定自治体の拡大(双葉地方町村会と連携)
- ・浜通り芸術祭開催、1F産業遺産の保存での協働

㉟ 地域の持続的発展

- ・100万交流人口を実現する広域DMOの組織化
- ・復興・エネルギーなども含めた地域公社の検討

㊱ 地域の未来を担う人材育成

- ・ふたば未来学園高校との連携
- ・大学生が地域に関与する持続可能な仕組み構築
- ・社会科学系の大学共同研究機関の検討

早稲田大学ふくしま広野
未来創造リサーチセンター

テーマとする課題・取り組み

参加する
ステークホルダー

大学

研究者連携 学生連携

地域大学・高等学校

都市住民・NPO

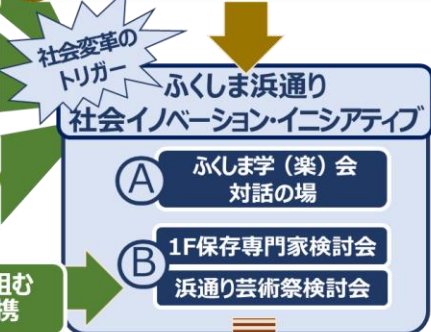
地域住民・NPO

広野町・地域自治体

浜通りを応援する
市町村長の会(仮)

他の復興知に取り組む
大学との協働・連携

- ① まちづくりと住民参加
- ② 持続的な農林水産業の創造と地域再生
- ③ 再生可能エネルギーとスマートタウン
- ④ 1F事故処理・廃炉と汚染水問題



研究成果の地域への還元

- ㉞ 浜通りの広域連携
- ㉟ 地域の持続的発展
- ㊱ 地域の未来を担う人材育成

地域社会から見たイノベーション・コースト構想の実現